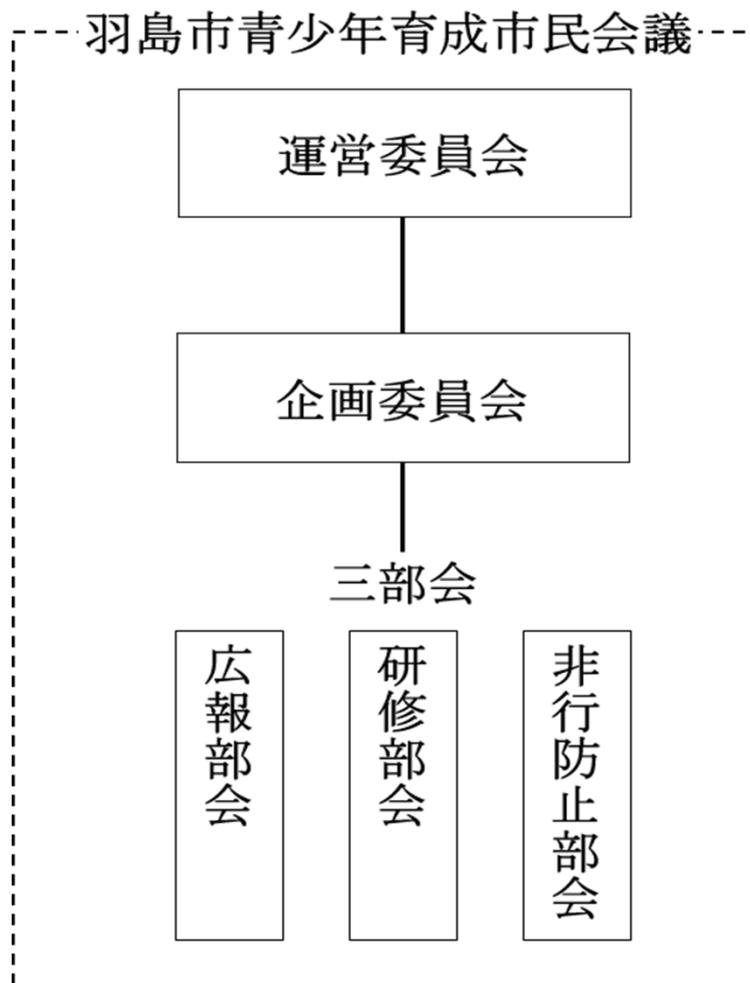




羽島市青少年育成市民会議の 活動について

羽島市青少年育成市民会議 組織



運営委員会

市長を会長に、岐阜県議会議員、教育長、自治会代表、小中学校代表、子ども会などの関係団体の代表のほか、県青少年育成推進指導員、青少年育成推進員(24名)など計38名で構成しています。

企画委員会

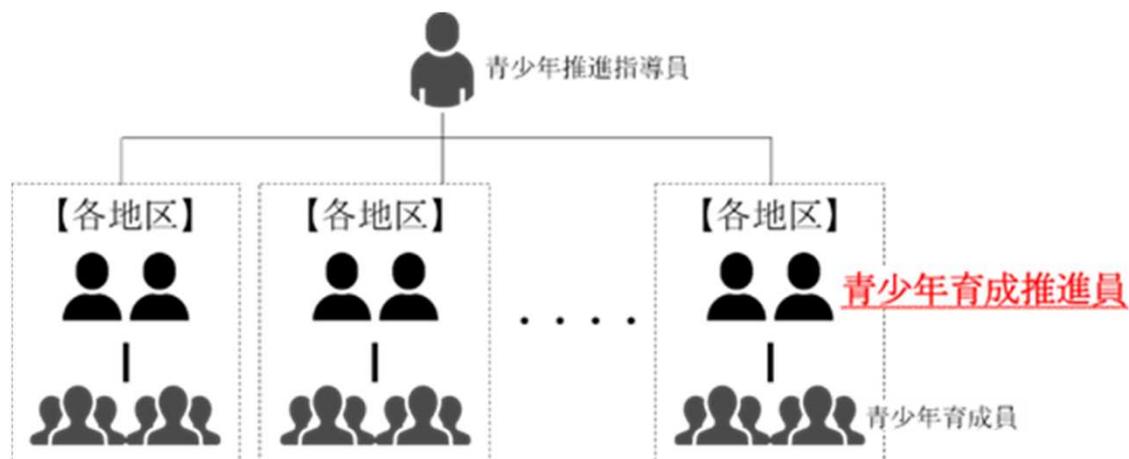
県青少年育成推進指導員と各部会長・副部会長の計7名で構成。活動内容の立案を行います。

三部会

青少年育成推進員はいずれかの部会に所属し、活動しています。

羽島市青少年育成市民会議 組織

<各地区組織>



市内11地区に青少年育成推進員が2名～4名います。
また、各地区には区長の推薦を受けた青少年育成成員がいます。

青少年育成推進員を中心に、青少年育成成員と協力しながら各活動を行っています。



《足近フェスティバル》



《竹鼻地区健康ウォーク》

令和6年度事業予定

時期	内容	時期	内容
4月	・青少年育成推進員研修会	9月	・管外研修会
5月	・羽島市青少年育成市民会議 総会	11月	・「秋のこどもまんなか月間」 標語・合い言葉の募集
6月	・わたしの主張 羽島市大会 兼 青少年健全育成大会	1月	・青少年育成推進員研修会
7月	・「青少年の非行・被害防止全国強 調月間」啓発活動 ・「いくせい」前期号発行	3月	・「いくせい」後期号発行

三部会の活動紹介

広報部会

青少年育成市民会議の理念や事業について、市民のみなさんに周知し理解を促すための広報活動を行います。

令和5年度の活動

地域活動の記録写真の収集

Webフォームを活用して、地域で活躍する青少年育成推進員が、地域活動の写真スマートフォンなどから、すぐにアップロード・記録しておけるようにしました。



収集したデータは事務局で保存し、各種広報媒体や、県及び他市町との情報交換等に活用します。



三部会の活動紹介

広報部会

令和5年度の活動

「いくせい」の発行

年2回広報紙を発行し、青少年市民会議に関する周知や青少年健全育成にかかる啓発を行っています。

← 前期号(7月発行)

いくせい 令和5年7月 羽島市青少年育成市民会議 羽島市市民協働生涯学習課

広げよう 地域の輪 輝け はしまの子どもたち

私たちは子どもたちを応援するチームです

子どもたちが生き生きと暮らし、心豊かに成長することを願って

青少年育成市民会議は、学校・地域・青少年に関わる様々な団体のみならず、青少年育成推進員・青少年育成員で活動しています。

青少年育成推進員ってなに？

羽島市内の子どもたちが健やかに育つ環境をつくるため、地域のみならずと一層に活動しています。各自治会長から推薦を受け委嘱されています。

青少年育成員ってなに？

青少年育成推進員とともにバトロールや夏祭り、文化祭など、それぞれの地域の活動に参加し、子どもたちの健全育成の実現を目指します。各地区の区長から推薦を受け委嘱されています。

地域での活動イメージ

学校 団体など 推進員 地域のみならず 育成員

広報 広報 広報 広報 広報 広報 広報 広報 広報 広報

いくせい No.51

すべての子どもが笑顔で暮らす羽島市をめざして

青少年を取り巻く課題の中で青少年の思いを知る 様々な活動を通して青少年育成に必要な知識を広げます。

羽島市青少年育成市民会議の事業

わたしの主張

市内中学校・義務教育学校の特別支援学級の卒業生が、日々の中心とした思いを青少年の言葉で発表します。

青少年健全育成大会

青少年の健全育成等について、関係行政機関を通じて、広く議論を深め、地域ぐるみの活動を推進します。

青少年育成推進員研修会

青少年育成推進員の学びの場として4月・1月に研修会を行います。

広報部会

青少年育成市民会議の啓発や事業について、市民のみならずに発信し理解を促すための取組活動を行います。

広報部会のメンバー

大野 一男(竹島)、野島 美奈(庄木)、松野 隆博(竹島)、春日 悠樹(庄木)、山本 真生(庄木)、新田 亮(庄木)、木下 聖(上中)、藤野 浩二(上中)

あとがき

今回の「いくせい」は、青少年育成推進員や育成員の役割や活動について詳しく紹介させていただきました。私たち青少年育成推進員は、羽島市の「子ども達を応援するチーム」として引き続き市内各地区で活動してまいります。

竹島地区青少年育成推進員 広報部会委員長 大野 一男

三部会の活動紹介

広報部会

いくせい  **令和6年3月**
 羽島市青少年育成市民会議
 羽島市市民協働部生涯学習課

広げよう 地域の輪 輝け はしまの子どもたち

地域では子どもと大人が共に活動しています
 令和5年度に行われた活動の一部を紹介します。

正木町民運動会

地域に根ざしたボランティア活動！
正木 地区
 青少年育成推進員 野口さん

4年ぶりの開催となった町民運動会は残念ながら雨天のため正木小体育館で行われましたが、関係団体の皆さんと協働で協力し合って運動会のお手伝いできました。

稲寿町スポーツフェスタ

市民協働から子どもが参加できるスポーツイベントへ
稲寿 地区
 青少年育成推進員 藤田さん

グラウンド・ゴルフやヘルツクなど4種目を体験出来るイベントを開催しました。中学生の皆さんの協力もあり、たくさんの歓声で賑やかなグラウンドとなりました。

氷ロケット教室

工作を通して子どもと地域の人とのコミュニケーションを促す
上中 地区
 青少年育成推進員 水金さん 組野さん

自協団から講師の方を招いて、氷ロケットを行いました。校庭で発射台にセットし空気を圧縮して発射ボタンを押すと瞬間速度200キロで飛びました。小学生たちは大興奮でした。

下中フェスティバル

スポーツと文化祭を兼ねた新しいイベント
下中 地区
 青少年育成推進員 田内さん

駅スポーツ4種目でそれぞれがポイントを集め、景品と交換。文化発表会場ではサークル、演習団、小学校の発表を行い、イベントは大盛況で来場者の方々の笑顔が素敵でした。

福祉ふれあい夏祭り 盆踊り

地域の子どもは、地域で育てる。一伝統文化を伝承しよう
桑原 地区
 青少年育成推進員 奥田さん 奥田さん

桑原学園のサブグラウンドで4年ぶりに夏祭りが開催されました。地域の名人の指導で3年生の児童が竹灯籠を提げました。「僕の「私」」と会場内が笑顔いっぱいでした。

青少年育成推進員研修会の開催

研修会を通して、地域活動のより一層の充実を目指します
子どもたちと地域をしっかりとつなぐために私たちにできることを考えました。

日時 令和6年1月25日(木)
 テーマ 「地域と学校の連携・協働 ～子どもを物としたり地域づくり～」
 講師 一般社団法人コロコロが 代表理事 伊藤 大貴 氏

令和6年3月 **いくせい** No.52

地域ぐるみの活動を目指します
 様々な活動を通して、世代を超えた交流や、子どもの居場所づくりを。

足近 地区 米作り、子ども七夕まつり、足近フェスティバル、防犯パトロールなど多くの行事を実施しました。今後も地域の活性化を目指します。

小籠 地区 年度始めから地区をあげてコロナ禍からの各種事業活に取り組み1年でした。町民ふれあい夏祭りなど、予定したすべての行事は大成功。有難うございました。

竹鼻 地区 竹鼻町防災スポーツフェスティバルでは、各団体や中学生ボランティアと共に防災に必要な事を学び、体験することができました。

稲津 地区 今年度は、自転車点検や雪パトといった地域の防犯・安全活動に加え、町民運動会、クリスマス会が開催されました。

江吉良 地区 コッペ亭の工場見学、大きな機械を使ったパンの製造に全員が釘付けでした。公園ではコッペパンを頒受する子ども達の笑顔が印象的でした。

竹鼻南 地区 夏に取った稲アワで織むしめ織作り、地元の名人から教わり見事に完成し餅つきも体験。地域の冬の風物詩になっています。

標語・合い言葉 11月7日のことばはみんなが笑顔に育つ世界になりました。人助けの輪が広がります。

優秀賞 「おはよう」と「ただいま」が繋ぐ 地域のぬくもり 一般 足名沙希さん

奨励賞 あいさつで 人との絆 ふかめよう 足名沙希さん

地いさきとともに 気持ちつながる ボランティア 稲津地区 日本サトルさん

やめようよ 注意し合える 真の友 稲津地区 アンナマリアコロンナさん

「家庭の日」啓発画・ポスター入賞作品
 主催 岐阜県・(公社)岐阜県青少年育成市民会議
 家族で団らん
 稲津小学校 興野 晋彦さん

あとがき
 令和6年1月1日、突然の強風が、お正月の団々の飾り止めた。テレビの番組すべてが緊急ニュースに切り変わり石川さん、岐阜県民の皆さんの大きな声援のおかげで、その後のニュースの中に「自分の家は被害が少なかったから」と近頃の避難所に過剰に避難して来た方々を助け、配る手配をする小学生の姿がありました。あの頃こそ青少年育成に関わる私たちのためとすべではないかと思いました。一日も早く被災者の皆さんに届く日が来る事を願います。「あとがき」にかえて
 竹鼻地区青少年育成推進員 大野 一明

令和5年度の活動

「いくせい」の発行

前期号は青少年育成推進員や育成員の役割や活動、後期号は地域や市の活動報告を掲載しました。

後期号(3月発行)

三部会の活動紹介

推進員の地区活動をより一層充実したものとするため、各種研修会の企画・運営を行います。

令和5年度の活動

管外研修

他市町村の活動方法について学び、地域に活かすため、推進員を対象として、研修を企画、実施しました。

令和5年度は各務原市の青少年育成関係者と意見交流や情報交換を行い、活動の視野を広げました。

研修部会



《各務原市福祉フェスティバルの見学》



《意見交流会の様子》

三部会の活動紹介

研修部会

推進員の地区活動をより一層充実したものとするため、各種研修会の企画・運営を行います。

令和5年度の活動

青少年育成推進員研修会

青少年育成推進員の知識を深めるため、年に2回開催します。

1月実施の研修会では、「子どもを核とした地域づくり」をテーマに外部講師を招き、子どもたちと地域をつくっていくためにできることを考えました。



《講演の様子》



《グループワークの様子》

三部会の活動紹介

非行防止部会

健全な育成環境の維持のため、啓発活動を行います。また、市少年補導員として見守り等を行います。



令和5年度の活動

県配布チラシによる啓発

7月「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月「秋のこどもまんなか月間」に合わせインターネット利用に関するチラシを配布しました。

スマートフォンの利用に関するアンケート

羽島市の児童生徒のスマートフォンの利用に関して現状を把握するため、アンケートを実施しました。集計結果を市内小中学校及び義務教育学校、保護者へ配布し、ネットトラブルへの注意や保護者によるサポートの必要性を啓発しました。

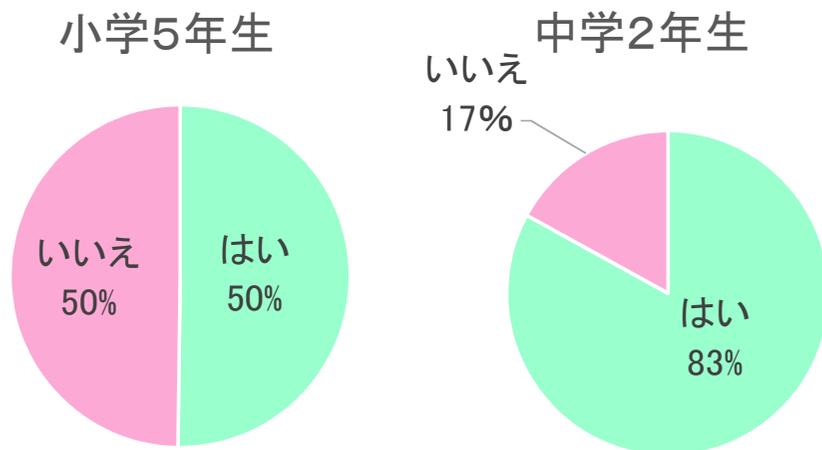
三部会の活動紹介

非行防止部会

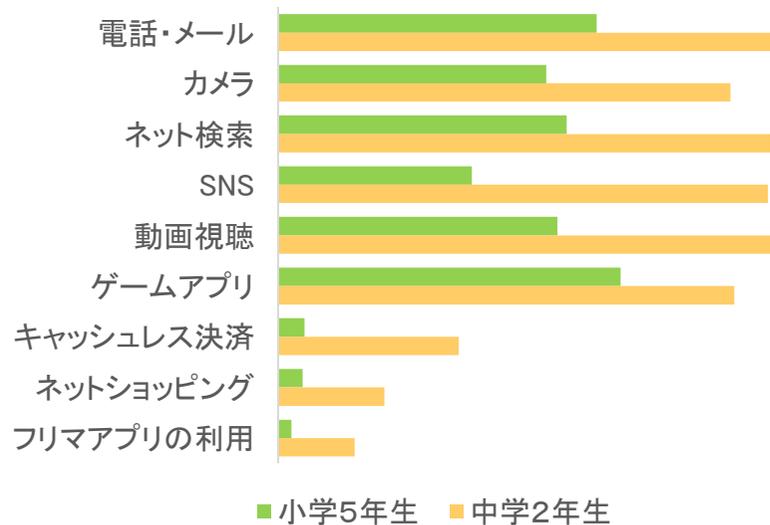
令和5年度の活動

スマートフォンの利用に関するアンケート(一部抜粋)

Q. 自分のスマートフォンを持っていますか？



Q. スマートフォンを普段どんなことに使っていますか？(複数回答可)



三部会の活動紹介

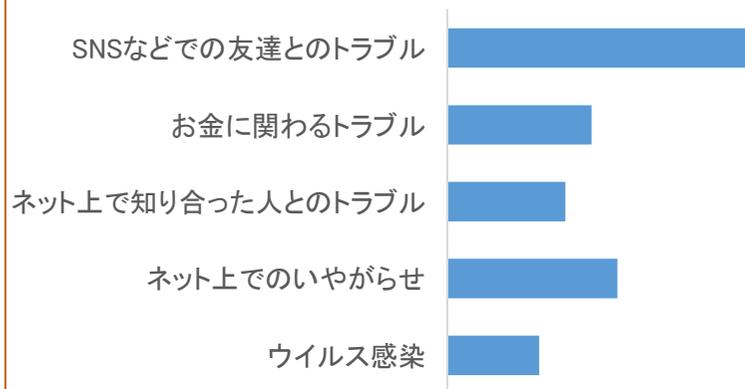
非行防止部会

令和5年度の活動

スマートフォンの利用に関するアンケート(一部抜粋)

Q. スマートフォンを使っていてどんなトラブルになったことがありますか？
もしくはどんなトラブルになった人を見たことがありますか？

小学5年生



中学2年生

